

自転車テーマにしたパブリックアート展「名古屋自転車風俗展示会」のプレイベント(2回目)の実施

結果

来場者、及び出展者は、自転車に乗ること、作ること、自転車で遊ぶこと、表現するを楽しみ、そこで様々な交流が生まれた。名古屋テレビ塔での本開催に向け、地域の自転車文化人との関係強化と、一般への認知向上が図れた。

企画名：名古屋自転車風俗展示会 2014夏

主催：NPO法人 チャリンコ活用推進研究会

開催日時：平成26年7月19日(土)～20日(日)

会場：多目的スペース パルル parlwr (愛知県名古屋市名古屋市中区新栄2-2-19)

内容：名古屋テレビ塔で開催予定の、自転車をテーマにした市民が主役のパブリックアート展。そのプレイベントの開催。

カスタムハンドビルド、マニファクチュアー、写真、映像、アートの作品展示、及び販売。ライド企画と飲食出店の実施。

動員数：300人(二日間のべ)



【特別企画 名古屋の自転車文化発展について考えるシンポジウム】

来る2014年11月末、名古屋テレビ塔にて本開催となるこの名古屋自転車風俗展示会。より良い自転車文化を築く機会とすべく、今回のプレイベントでは、地域の自転車愛好家らとの情報共有、意見交換の場として、シンポジウムを開催する運びとなった。(7月19日夜)

当日はまず、主催であるNPO法人チャリンコ活用推進研究会の理事長よりの開演あいさつ、そして本年度の事業計画の案内から始まり、続いて名古屋で唯一の自転車便サービスを営む"Daisy Messenger"、その代表である嶋崎イヅル氏より、新事業「自転車救急サービス」と名古屋市中心部における自転車修理サービス不足について、街の機能の問題点として話してもらった。

コアタイムでは名古屋テレビ塔まちづくり事業部の担当で、以前は「大ナゴヤ大学」の学長をされていた加藤シンヤス氏をゲストパネリストとして招き、これからのテレビ塔、久屋大通公園についての話を伺いながら、街づくりに関して参加者と意見交換を行った。

一般市民がまちづくり事業者の話を直に聞く機会は、なかなか無いと言えます。今回、参加した一般の自転車愛好家からは質疑を含めて、今回のシンポジウムについて概ね良好な声をもらい、地域の自転車文化発展に向けての有意義な会になったと言える。



【当日の出展者(出展内容)】

Shin・服部製作所(車両、書籍)、Welldone(被服)、Norihito Sawaguchi "neco299"(イラストレーション)、Kiiz SmiLe(菓子装飾)、Daisy's grocery(飲食)、SimWorks(車両、用具、書籍)、uirō(被服)、チャリンコ活用推進研究会(活動案内)

【今後について】

11月末の名古屋自転車風俗展示会の本開催を前に、前回4月、今回に引続きプレイベントとシンポジウムの開催を重ね、地域の自転車文化人との関係強化を図る。合わせて会場となる名古屋テレビ塔との調整を進め、開催スケジュールの構築、市民参加型となる本事業イメージのプロモーション、出展内容の調整など、本開催にむけての準備を進める。